

## 2016年学堂会 9月講演会ご案内

尾崎行雄は「立憲政体維持の必要条件は、その民を智にし、生命財産及びその他の権利の所有主たる事を自覚せしむるに在り」と、説いています。私たちは、2011年3月11日に東日本を襲った大地震と津波で、原子力発電は絶対に安全であるという驕りと欺瞞、妥協が、多くの人々の生命・財産を奪い、代々暮らした故郷を失わせてしまいました。人類は、いまだ核廃棄物処理の知恵を持ち合わせていないにも拘らず、いたずらに経済至上主義を追い、私たちの孫・子に残すべき豊かな大地までも汚染してしまっています。他を犠牲にしての経済政策では、人類の未来が見えません。東京電力の原発事故から5年余が過ぎていますが、未だに日々核廃棄物が、空気・国土・水・海への汚染が続いています。次世代に安全な大地・故郷を残す道があるのでしょうか。主権者である私たち一人ひとりが、現状にあってしなければならないこと、できることをご一緒に考え、国のあたらしい方向付けに どう責任を果たしていくのかを学び、生きていきたいと思えます。ご参加をお待ち致します。

日時：2016年9月16日(金)17:00～19:30(日英通訳あり) 開場16:45

講師：小出 裕章 氏(こいで ひろあき)

場所：憲政記念館 会議室 千代田区永田町1-1-1

演題：『原子力と核、戦争、個人の自立』

会費：¥1,000

講師紹介：1949年生まれ。元京都大学原子炉実験所助教。東北大学工学部原子核工学科卒、同大学院修了。専攻は放射線計測、原子力安全。伊方原発訴訟住民側証人。原子力の専門家でありながら、そのリスクや問題点についての研究活動に精力的に取り組んできた。3月11日の地震以降、福島原発について昼夜を分かたず奮闘し続けている。主な著書『小出裕章が答える原発と放射能』(河出 書房新社)、『原発のウソ』(扶桑社新書)、『原発のない世界へ』(筑摩書房)、『隠される原子力・核の真実』(創史社)ほか多数。

学堂会講演会のお問合せ

学堂会代表 原 不二子 事務局 兼松 恵 大隈尚子

参加申込： 兼松 恵 Tel: 090-5016-4410 e-mail :< megukanematsu@gmail.com >

Faxでのお返事は、大隈尚子宛： Fax: 03-6310-5325 下記にお名前、ご連絡先などを書いていただいて、このままご送信ください。

次回の学堂会は10月18日マーティン ファクラー氏(憲政記念館会議室於)にお願いしております。